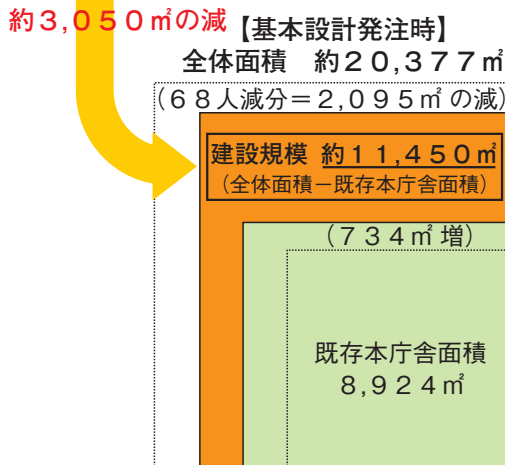
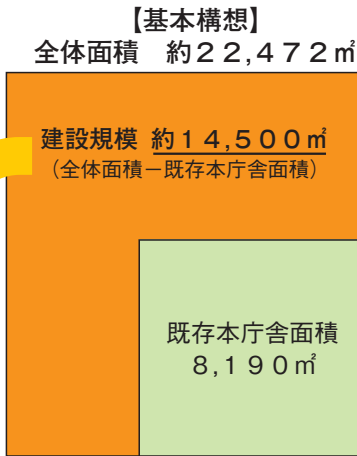


統合庁舎建設に係る床面積と 事業費の減について（お知らせ）

床面積について

統合庁舎建設については平成23年3月に策定しました「うるま市統合庁舎基本構想」においてその基本理念や基本方針など、基本的な考え方をまとめ、公表しております。

その中で新庁舎の建設規模を約14,500㎡としております。これは地方自治体の庁舎建設規模算定の標準的な方法である地方債事業費算定基準（総務省）を用い、策定段階で新庁舎に入ると想定された職員数882人を基にして算出した全体面積、約22,472㎡から既存本庁舎の面積、8,190㎡を差引いた数字となっております。（左図の上段を参照）



今回、基本設計の発注に係る手続きとして、職員数の時点修正や既存本庁舎の床面積について精査を行いました。職員数は814人(68人減)となり、それを基に全体面積を算出し約20,377㎡(約2,095㎡減)となりました。また、既存本庁舎の面積について過去の増築部分734㎡を加えて8,924㎡とし、建設規模を算定した結果、必要床面積が11,450㎡となり、基本構想時点の面積と比べ約3,050㎡が減となっております。（左図の下段を参照）

総事業費について

うるま市統合庁舎基本構想における庁舎建設事業の総事業費は約63億円となっております。

今回、基本設計発注時に、基本構想に基づく建築単価1㎡あたり356千円から、最近の県内他自治体の設計発注時の単価とコスト縮減を考慮し300千円/㎡として事業費の見直しを行いました。その結果、上記で説明しました面積の減や建築単価の減によって総事業費が約45億円となっております。

今回の面積及び総事業費の減については、「市民サービスに影響を及ぼすことがないよう、常に財政面での検証を行い、場合によっては、規模の見直しなども行うなど、柔軟な対応を取って頂きたい。」とのうるま市統合庁舎建設委員会からの答申内容に沿ったものとなっております。なお、お知らせした内容はホームページでもご覧いただけます。

総務部 庁舎建設室

☎974-3111

内線1394

基本設計者の選定について

基本設計者の選定については、参加者から提出された技術提案書等をもとに3月3日に健康福祉センターうるまにおいて、公開ヒアリング、審査会を行いました。その結果、次のとおり優秀者を特定しましたのでお知らせします。

【優秀者】
㈲アトリエ・門口、久友設計(株)、創設計、タイラ建築設計事務所
設計共同企業体



公開ヒアリングの様子

設計者選定の審査結果等については、うるま市役所ホームページの庁舎建設室のページで確認することができます。